

# 令和4年度 山口県学力定着状況確認問題の結果について 【中学校】

下松市教育委員会

## 1 結果の公表 にあたって

令和4年度「山口県学力定着状況確認問題」は、児童生徒の学力の状況や生活習慣、学習環境の状況を調査し、県内すべての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施しました。また、今年度は、初めてタブレットを使用し  
ての実施となりました。

今回の結果をもとにして、本市におきましても、引き続き、学校と家庭・地域が連携・協働し一体となった取組を推進してまいりますので、御協力をお願いします。

### ○ 実施期日

- ・令和4年10月17日（月）～10月21日（金）小学校6年、中学校2年
- ・令和4年10月24日（月）～10月28日（金）小学校5年、中学校1年

### ○ 実施内容

小学校5、6年生 国語、算数

中学校1、2年生 国語、数学（※中学校2年生は英語も実施）



## 2 教科に関する 問題の結果について

【国語】 1年生・2年生ともに県平均正答率を上回っている。

【数学】 1年生は県平均正答率を上回っているが、2年生は下回っている。

【英語】 県平均正答率をわずかに下回っている。

→ どの教科も、記述式問題（考えを書く、理由や方法を説明する等）に課題が見られます。思考力や判断力を要する問題（目的や意図を考えて答える、理由を明確にして答える、学んだことを活用して答える等）については、一定の結果は見られるものの、学年によっては、やや低い正答率でした。また、どの学年においても、基本的な学習内容を確実に習得しておくことが重要です。

### ◎（市平均正答率の高かった問題） ▲（市平均正答率の低かった問題）

## 国語

- ◎ 副詞の効果について捉えること（1年）
- ◎ 工夫された表現を基に、人物の様子を捉えること（2年）
- ◎ 古典作品の内容の大体を捉えること（2年）
- ▲ 表現技法について理解すること（1年）
- ▲ 修飾・被修飾の関係について理解すること（2年）



## 数学

- ◎ 分数の除法の計算ができること（1年）
- ◎ 表から資料の特徴を読み取ること（1年）
- ◎ 分数の減法の計算ができること（2年）
- ▲ 基準量と比較量を基に割合を求めること（1年）
- ▲ 空間図形の線分の長さについて理解すること（2年）



## 英語

- ◎ 基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うこと
- ▲ 聞いて把握した内容について、適切に応じること
- ▲ 文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと



3 課題の見られた問題例

国語 表現技法について理解する問題 【1年】

2 (8) 次は、短歌について話し合っている場面です。これについて、あとの問いに答えなさい。

夏の風 山よりきたり 三百の 牧の若馬 耳ふかれけり よさのあきこ 与謝野晶子

先生 短歌の言葉から気がついたことを自由に話してみましょう。

大石 初夏にさわやかな風がふいていることがわかります。

山下 作者は山からふいてきた風をとてもちよく感じたんだね

石田 緑の牧場に若い馬がたくさんいる風景が想像できるよ。

山下 ( A ) が風にふかれているところをうまく表しているね。

中村 それにしても、作者はどうやって馬の数を数えたのだろう。

石田 どうしてそう思ったのかな。

中村 若馬が三百頭いると書いてあるからだよ。

石田 「三百」は実際の数ではなくて、数の多さを表現した  ではないかしら。

「山のような仕事」という表現みたいだね。

中村 でも、たくさんいることを表すんだったら、「百」や「二百」、「千」でもいいよね。

山下 短歌は五七五七七の三十一音で作られる定型詩だから、「三百」は音としてもしっくりくるよ。

大石 「より」、「たり」、「けり」のように、言葉の響きが合わせてあるのもいいね。

③  の中に入る表現の技法を答えなさい。

※ 県平均正答率を下回り、20%台の正答率でした。

数学 空間図形の線分の長さについて理解する問題 【2年】

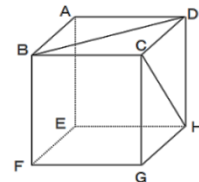
5 (3) 以下の立方体において、線分BDと線分CHの長さの関係はどうなりますか。次のア～ウの中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。また、それが正しいこと理由を説明しなさい。

ア 線分BDの方が長い

イ 線分CHの方が長い

ウ 線分BDと線分CHの長さは等しい

※ 県平均正答率を下回り、20%台の正答率でした。



英語 聞いて把握した内容について、適切に応じる問題 【2年】

3 (聞き取り問題) これから放送する英文を聞いて、(1)、(2) それぞれの問いに答えなさい。英文は1回だけ放送します。

(2) 来月、あなたの学校に交換留学生のアーシャ(Asha)が来ることになり、ビデオメッセージが届きました。アーシャは日本のことをよく知りません。今から放送するビデオメッセージの内容を踏まえて、あなたからアーシャへのアドバイスを英語で書きなさい。

ただし、文章によるアドバイスを考え、8語以上の英文(2文以上になってもよい)で書きなさい。(符号(. . . ? !など)は語数に含めない)

※ 県平均正答率を下回り、8%台の正答率でした。

4 今後の取組

★ 学 校

● 学校の組織的取組の強化

(教科・学年の枠を超えた研修の推進、学力向上プランの重点化等)

● 児童生徒の「学習力」の向上をめざす授業改善

(「キラリくだまつ授業づくり」の活用、誤答分析を生かした授業改善等)

● 校内研修の活性化と指導の充実

(「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善、「やまぐち学習支援プログラム」の活用、個に応じた補充学習等)

★ 家庭・地域

● 学習・生活習慣の確立

(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)

● コミュニティ・スクール、やまぐち型地域連携教育の仕組みを生かした学習支援

(地域の人材を活用した授業や取組等)

★ 下松市教育委員会

● 「キラリくだまつ授業づくり」に基づいた授業改善の推進

● 授業における「振り返り」活動の推進

● 課題と考えられる状況等の情報提供

● 学校訪問等による指導・助言

● 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりに関する指導・助言

● 下松市学習指導実践研究校の指定